

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

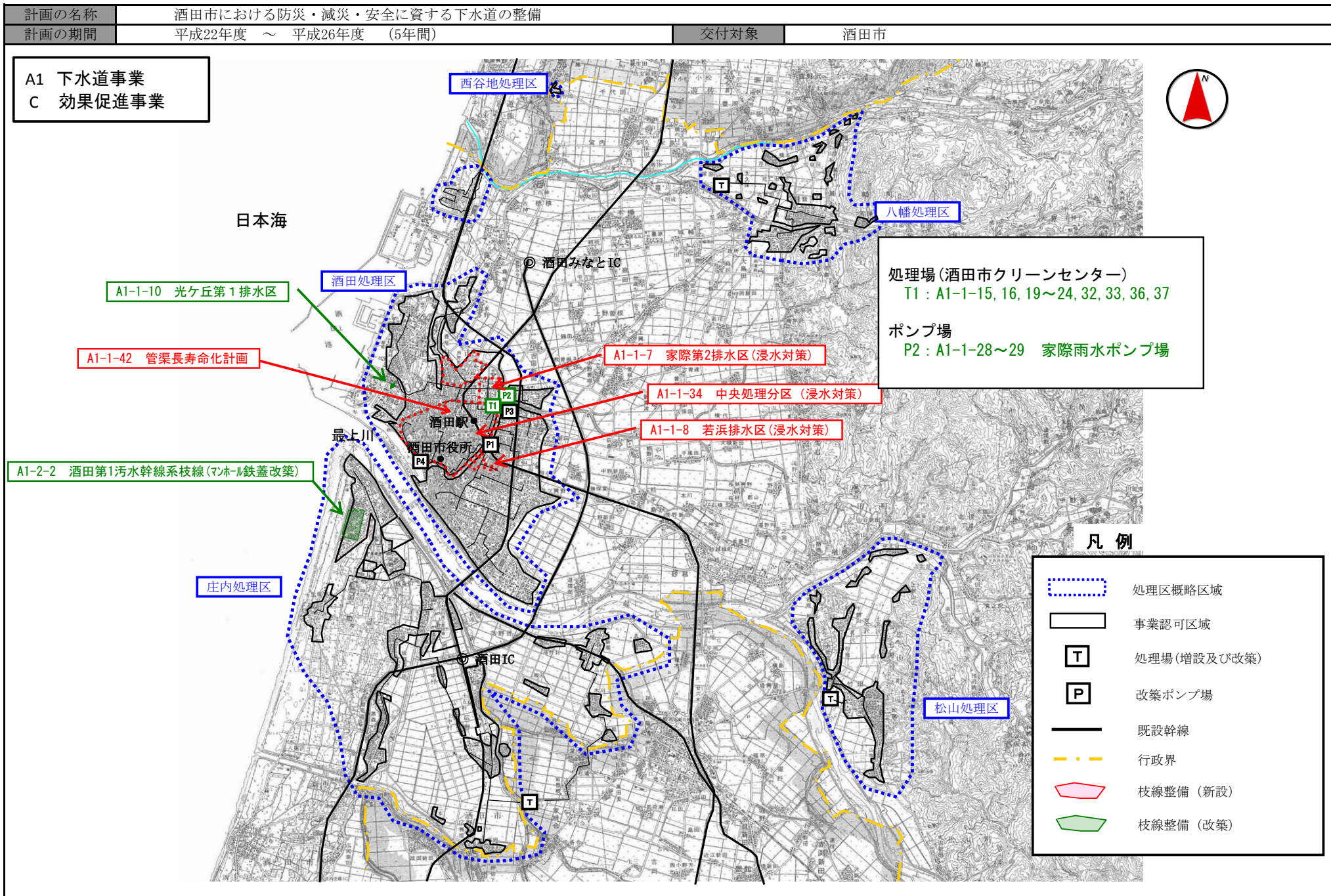
平成29年1月20日

計画の名称	酒田市における防災・減災・安全に資する下水道の整備					交付対象	山形県、酒田市										
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）																
計画の目標	下水道施設の耐震化・長寿命化と浸水対策に取り組み、安全・安心な暮らしを実現する。																
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道による都市浸水対策面積を1,066ha(H22)から1,119ha(H26)に増加させる。 ②処理場及びポンプ場における長寿命化計画策定率を0%(H22)から100%(H26)に増加させる。（対象：処理場1箇所、ポンプ場3箇所全て策定） ③処理場における施設整備率を0%(H22)から30.4%(H26)に増加させる。 ④老朽化したマンホール蓋の改築実施率を27.7%(H22)から100%(H26)に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					備考						
						当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)									
①下水道による都市浸水対策面積 浸水対策完了済み面積 (ha)						1,066 ha	1,099 ha	1,119 ha									
②処理場及びポンプ場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場及びポンプ場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場及びポンプ場数（箇所）						0%	100%	100%									
③処理場における施設整備率 整備済みの施設数（施設）／整備すべき施設数（施設）						0%	21.7%	30.4%									
④老朽化したマンホール蓋の改築実施率 改築済みの箇所数（箇所）／改築すべき箇所数（箇所）						27.7%	100%	100%									
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,527.8百万円	A	3,527.8百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%						
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
酒田市社会資本総合整備計画事後評価委員会を設置し、数値目標の達成状況や事業効果の発現状況について、事後評価を実施した。						平成28年度 公表の方法 市のホームページに掲載											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
酒田処理区																	
A1-1-7	下水道	一般	酒田市	直接	-	雨水	新設	家際第2排水区(浸水対策)	雨水管φ2000×1200mm L=500m、樋門・樋管、Pφφ=3.200m ² /s	酒田市						635.7	
A1-1-8	下水道	一般	酒田市	直接	-	雨水	新設	若浜排水区(浸水対策)	雨水管φ1500×1400mm L=300m、樋門・樋管、Pφφ=2.591m ² /s	酒田市						636.8	
A1-1-10	下水道	一般	酒田市	直接	-	雨水	改築	光ヶ丘第1雨水幹線	雨水幹線耐震化φ1,650mm L=105m	酒田市						29.1	
A1-1-15	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	合流系改築計画・長寿命化調査	酒田市						22.0	長寿命化
A1-1-16	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	中央監視制御設備(電気)	酒田市						380.9	
A1-1-19	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	汚泥消化槽No.2耐震補強・防食	酒田市						82.7	
A1-1-20	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	汚泥消化槽No.2(機械)	酒田市						209.7	
A1-1-21	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	汚泥消化槽No.2(電気)	酒田市						103.6	
A1-1-22	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	汚泥消化槽No.1耐震補強・防食	酒田市						137.0	
A1-1-23	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	汚泥消化槽No.1(機械)	酒田市						372.0	
A1-1-24	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	汚泥消化槽No.1(電気)	酒田市						58.0	
A1-1-28	下水道	一般	酒田市	直接	-	雨水	改築	家際雨水ポンプ場	長寿命化計画策定	酒田市						6.1	長寿命化
A1-1-29	下水道	一般	酒田市	直接	-	雨水	改築	家際雨水ポンプ場	ポンプ棟耐震補強、脱臭設備改築	酒田市						36.0	長寿命化
A1-1-32	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	管理棟長寿命化・耐震補強	酒田市						329.4	長寿命化
A1-1-33	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	汚泥棟長寿命化・耐震補強	酒田市						189.9	長寿命化
A1-1-34	下水道	一般	酒田市	直接	-	合流	改築	中央処理分区(浸水対策)	貯留槽	酒田市						207.6	
A1-1-36	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	合流系水処理電気棟	酒田市						39.4	長寿命化
A1-1-37	下水道	一般	酒田市	直接	-	処理場	改築	酒田市クリーンセンター	ガスタンク	酒田市						10.6	長寿命化
A1-1-42	下水道	一般	酒田市	直接	-	汚水	改築	管渠長寿命化計画	計画策定	酒田市						32.8	長寿命化
庄内処理区																	
A1-2-2	下水道	一般	酒田市	直接	-	分流	改築	酒田第1汚水幹線系枝線(マンホール鉄蓋改築)	N=62箇所	酒田市						8.5	
小計（下水道事業）											3,527.8						

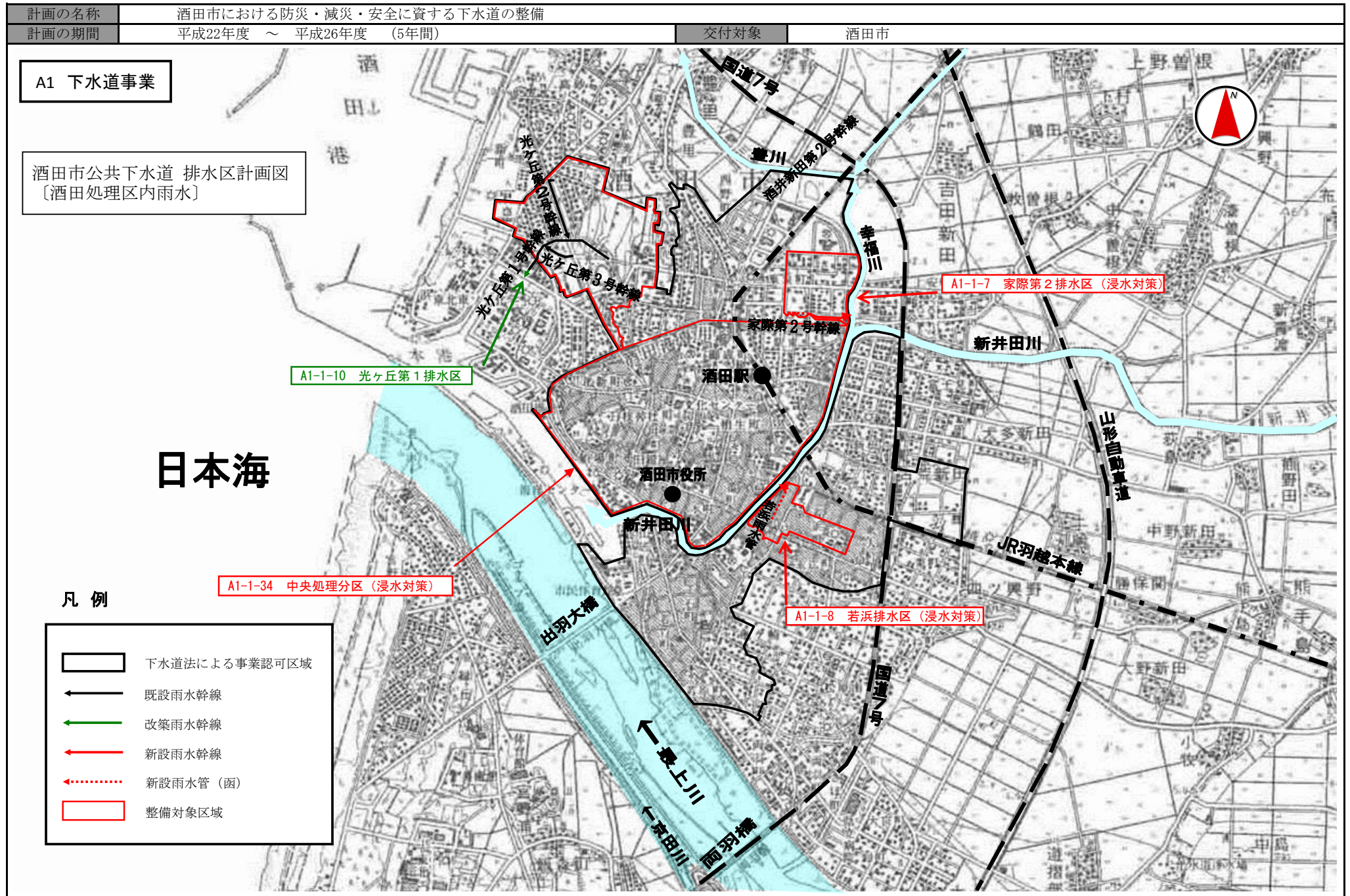
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
											合計		0.0			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
											合計		0.0			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①都市浸水対策をすべき地区について、1,119haの整備を完了し目標を達成する整備ができた。 ②処理場及びポンプ場における長寿命化計画の策定を、処理場1箇所、ポンプ場1箇所について行い、長寿命化計画策定率を50%に増加させたが目標を下回った。 ③処理場における施設整備率を65.2%へ進捗を図り、目標を達成する整備ができた。 ④老朽化したマンホール蓋の改築を実施し、概ね目標を達成することができた。</p>										
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道による都市浸水対策面積)	最終目標値	1,119 ha	目標値と実績値に差が出た要因	計画のとおり事業を実施し、事業期間内に完了し目標値が達成された。							
		最終実績値	1,119 ha									
	指標② (処理場及びポンプ場における長寿命化計画策定率)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	市内各施設の老朽化の状況や、耐震補強・改築工事の先行により、事業の優先順位や計画の見直しを行ったため、目標に達することができなかった。							
		最終実績値	50.0%									
	指標③ (処理場における施設整備率)	最終目標値	30.4%	目標値と実績値に差が出た要因	事業の優先順位や計画の見直しを行い施設整備を実施したため、整備率の進捗を図ることができた。							
		最終実績値	65.2%									
	指標④ (老朽化したマンホール蓋改築実施率)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	計画のとおり事業を実施し、概ね目標値のとおり達成した。							
		最終実績値	92.6%									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>・光ヶ丘第1雨水幹線(φ1,650mm、L=105m)の耐震化対策により、地震に対する安全度の向上が図られた。</p>										
3. 特記事項 (今後の方針等)												
<p>① 都市浸水対策について、今後も年次計画に基づき雨水幹線等の雨水対策施設を整備することにより、地域の浸水被害の解消に向け計画的に事業を実施する。 ② 施設の長寿命化計画策定に関して、今後も中長期的な年次計画の中で順次策定し、効率的な改築事業を進める。 ③ 処理場における施設整備について、施設の安全かつ安定的な運用を図り下水道サービスを継続的に提供し続けるため、今後も年次計画に基づいた改築を進める。 ④ 下水道施設の健全度に関する点検や調査の結果に基づき施設のリスク評価を行い、限られた財源で効果的かつ計画的な改築を行う。</p>												

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)



(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

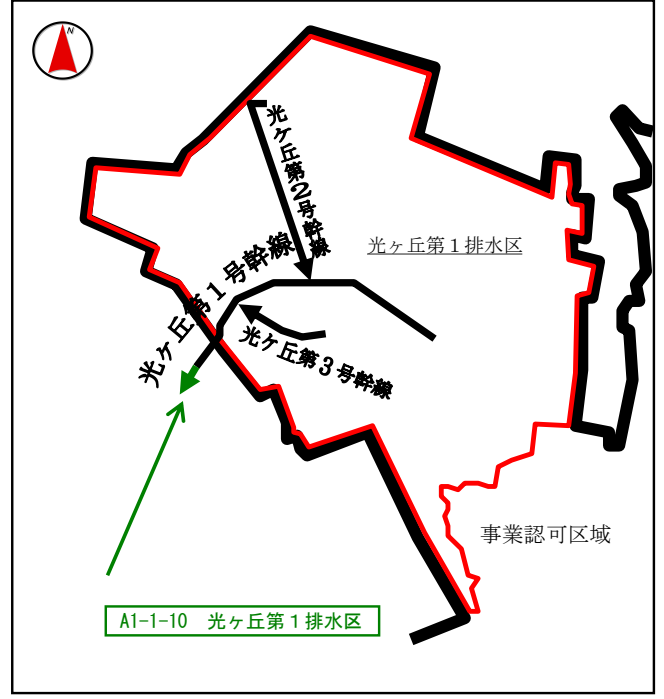
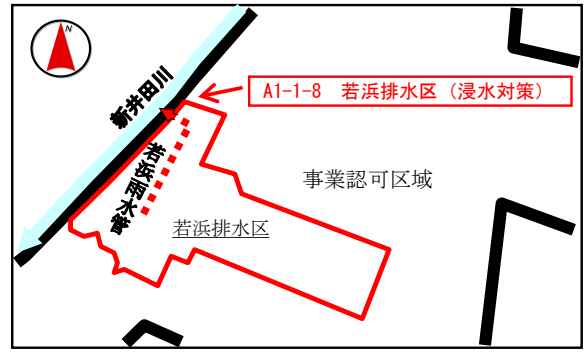
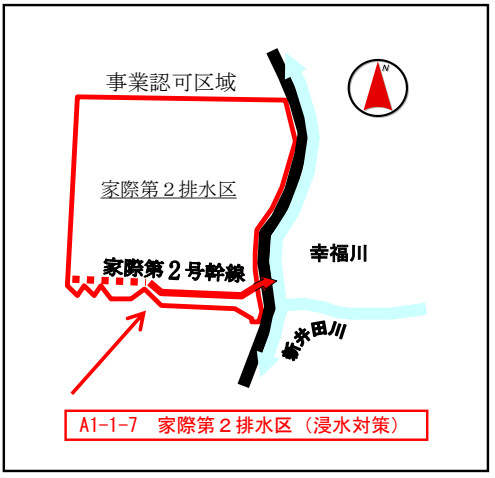


(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

計画の名称	酒田市における防災・減災・安全に資する下水道の整備		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	酒田市

A1 下水道事業

酒田市公共下水道 排水区計画図
〔酒田処理区内雨水〕



凡例

- 下水道法による事業認可区域
- 既設雨水幹線
- 改築雨水幹線
- 新設雨水幹線
- 新設雨水管 (函)
- 整備対象区域